

# 「男女平等」はもう当たり前？

「男女共同参画社会の実現」というと、「自分には関係ない問題だ」とか、「男女平等」なんてもう当たり前でしょ」「男女共同参画社会？なんか固くて、難しいイメージ」などの声をときどき耳にしますが、あなたはごどう思いますか？

内閣府では、「男は仕事、女は育児・家事」といった「固定的性別役割分担意識」を解消し、性別に関わらず、誰もが生きやすい社会を作ることを目指して、「男性にとっての男女共同参画」に関する意識調査を実施しました。

今回は、その結果の一部を紹介すると共に、「仕事」や「家事」の役割意識について「はばたき21」利用者の男性の声を集めてみました。

## 仕事 × 家事

### 男性の回答

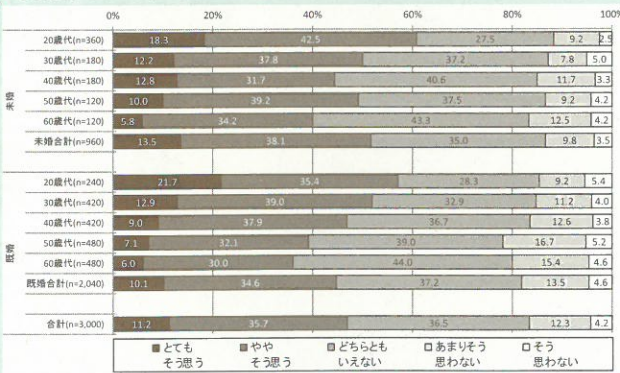
(結婚したら) 妻には、できるだけ稼いでほしい



「妻にはできるだけ稼いでほしい」と期待する男性は全体の2割弱で、特に既婚者は年代が高いほど、減少しています。

### 女性の回答

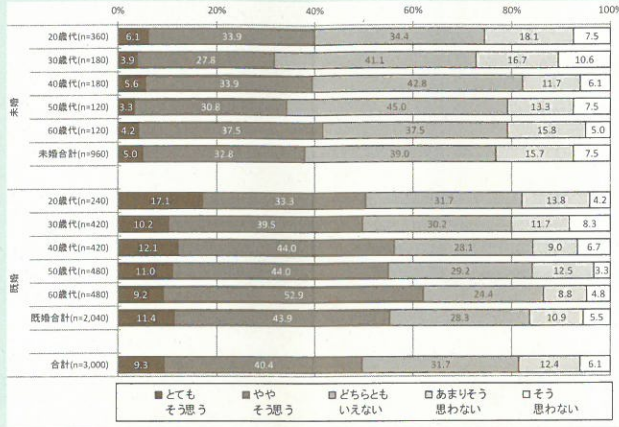
(結婚したら) 自分もできるだけ稼ぎたい



「(結婚したら) 自分もできるだけ稼ぎたい」という女性は、5割弱に上っています。

### 男性の回答

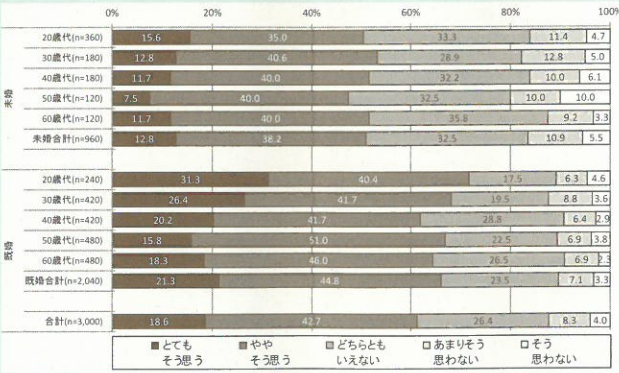
家事は、主に妻にしてほしい



「家事は主に妻にしてほしい」という回答は全体の5割で、特に年代が高い既婚者ほど期待する傾向があります。

### 女性の回答

家事は、主に自分がしたほうがよい



「家事は、主に自分がしたほうがよい」という回答が6割に上っています。

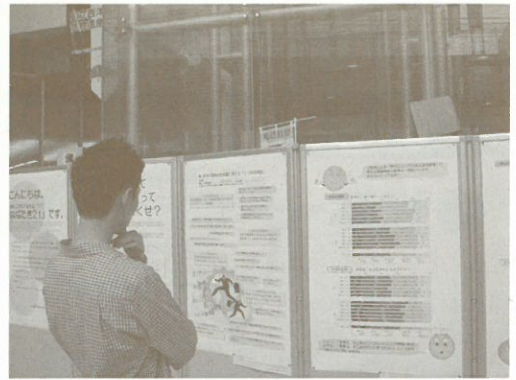
●内閣府男女共同参画局「男性にとっての男女共同参画」に関する意識調査報告書(平成24年4月)より

## 「男女共同参画週間」パネル展

実施日：2012年6月23日～6月29日

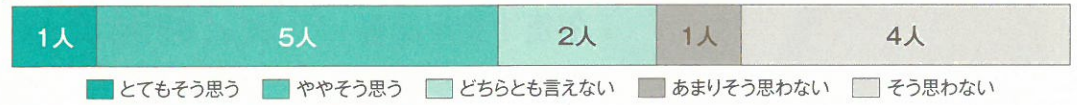
男女平等推進プラザ「はばたき21」では、「男女共同参画社会基本法」が公布・施行された6月23日からの1週間の「男女共同参画週間」に合わせて、毎年パネル展を開催しています。

今年は、内閣府の「男性にとっての男女共同参画」に関する意識調査報告の一部を展示し、来場者にアンケートを実施しました。



アンケート回収：男性 13人 (20代：1人 30代：3人 40代：3人 50代：1人 60代以上：5人)

### Q1：(結婚したら) 妻には、できるだけ稼いでほしい



#### そう思う

- 金銭面のサポートがあるのは有難いことだが、それ以上に働くことで自立した人でいてほしい。ただ、未婚の今はそう思いますが、結婚後もそう思い続けるかはわかりません。(20代)
- 外で働くのは、経済的にも本人の精神的にも良いと思うため。(30代)
- 経済的に楽になるから。(30代)
- 自分に経済力がないから。(40代)
- お互いの買いたいものを遠慮なく買える。(60代以上)

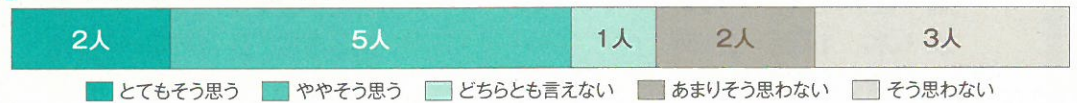
#### どちらとも言えない

- 家庭と仕事のバランスを考えてもらいたい。(30代)

#### そう思わない

- 男は外で稼ぐのが仕事。(50代)
- 頭がこれ以上上らなくなります。(60代以上)
- 妻は家にいた方がいい。(60代以上)
- 妻は家庭を守ってこそ、男性が安心して仕事に専念できるから。(60代以上)

### Q2：家事は主に妻にしてほしい



#### そう思う

- 洗い物等は手伝いたい。(30代)
- 料理などは自分でできないので。(30代・40代)
- 自分でできないので。(30代)
- 自分の料理が下手なので。(40代)
- 家庭は妻に守ってもらおう。(50代)
- 女性は男性の仕事の厳しさを知らないと思う。男性も仕事の辛さを家庭では言わない。(60代以上)

#### どちらとも言えない

- 一人残されたときのトレーニングも必要(60代以上)

#### そう思わない

- “主に”ではなく、“共に”サポートし合えれば良いですね。お互いの無理のない範囲で分担し合えば良いと思います。(20代)
- 自分でできるから。(40代・60代)
- (家事が)好きな人ならやってもらいたい、嫌いな人なら、自分でやった方が、気が楽である。何も女の人が家事専門の人ではないので。(60代以上)

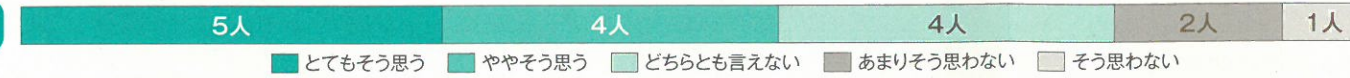
## 男性向け講座「パパ(男性保護者)と遊ぼう! 0歳児とのふれあいあそび」実施日：2012年6月30日 参加人数：男性保護者16人

アンケート回収：男性16人(20代：1人 30代：10人 40代：4人 50代：1人)

### 「育児・家事は主に妻にしてほしい？」

育児がはじまったばかりの0歳児のパパのホンネを聞いてみました!

#### 育児



#### そう思う

- 子どもとの時間が長いから。(30代)
- 共働きで育児をしていく予定なので、産休・育休から復帰するまでは子どもとの時間を増やしてほしい。(30代)
- 幼児期の触れ合いが成長に重要なので。(30代)
- 母性にはかなわないです。(40代)
- 母親の愛情を感じてほしい。(40代)
- 子どもの成長によいと思う。(40代)
- 一度しかないから。(50代)

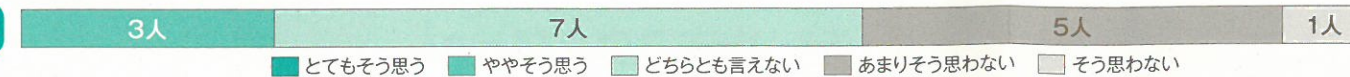
#### どちらとも言えない

- 仕事をしたいけれど、がんばってもらいたい。(30代)
- 共働きのため。(30代)

#### そう思わない

- 一緒に育児をやりたい。(30代)
- とはいえ、授乳などできないことが多いので、申し訳ない。(40代)

#### 家事



#### そう思う

- 苦手だから。(30代)

#### どちらとも言えない

- 手が空いている方がすべしと思う。(30代)
- 自分もがんばりたい。(30代)
- 妻の気に入るようにするのが難しい。(40代)
- 分担できるところを分担すればよい。(40代)
- 自分でできることはやっていきたい。(40代)
- 共働きなら家事は協力すべき。(40代)

#### そう思わない

- 余裕がある方がやればよい。(30代)
- 協力していきたい。(30代)

## アンケートの結果から

育児世代は、育児も家事も協力してやりたいという気持ちはあるものの、「妻の気に入るようにするのが難しい」など、妻の方に、育児・家事のこだわりがあって、手を出しづらい状況もあるようです。

また、「妻は家庭を守ってこそ、男性が安心して仕事に専念できる」といった性別役割分担を肯定する声は、60代以上の男性に目立ちます。

